



令和元年に開館して以降、著名な音楽家から新進気鋭のアーティストまで、数多くの公演が行われてきた高崎芸術劇場



毎週末開催され、若者のストリートライブを支援する「高崎おとまちプロジェクト」。5月に開催された「ストリートライブin高崎 どこもかしこも」では、まちなかが音楽であふれる一日に



高崎芸術劇場と創る 新しい「音楽のある街」

昨年10月に行われた台湾フェアのオープニングイベントに登場した高崎第九合唱団。美しい歌声で会場に花を添えた



第35回高崎音楽祭実行委員長。「高崎おとまちプロジェクト」など多くの音楽イベントを手がける

文化交流に一役 第九の歌は海を越えて
市長 市民が立ち上げた音楽活動の象徴が、高崎第九合唱団です。赤羽さんは長く楽団を支えてこられていますが、高崎には合唱団を作りたいという人が多かったのでしょうか。

平井 今年は17組が出演し、来場者も全国から5千人以上集まりました。まちなかで同時多発的にストリートライブを行う「どこもかしこも」も全国からお客さんが来ていますよ。

市長 それは素晴らしいですね。「おとまち」の活動が発展して、ボウイやバッククを生んだ街として、アマチュアロックミュージシャンが出演する「拝啓ボウイ様」というイベントも誕生しました。

平井 タゴスタジオの全国アマチュアオーディションでは、これまで「おとまちプロジェクト」から2組優勝者が生まれているんですよ。

市長 それは素晴らしいですね。「おとまち」の活動が発展して、ボウイやバッククを生んだ街として、アマチュアロックミュージシャンが出演する「拝啓ボウイ様」というイベントも誕生しました。



市長 高崎は今、元気や活力のある街だと全国に知られています。これは、コロナ禍でも感染症対策を講じながらお祭りや花火などを継続し、経済活動を停滞させないよう皆で工夫してきた成果だと思います。本日は、中でも本市の音楽文化を支えてこられた皆さんにお越しいただきました。児玉さんには、館長として高崎芸術劇場の運営を担っていただいています。全国に数多くある劇場やホールの中でも高い評価を受け、高崎の音楽シーンを支える重要な施設になりましたね。

児玉 開館してわずか半年でコロナ禍に入り、半分休館のような状態が続

本 市では、音楽の新たな発信拠点である高崎芸術劇場が開館から5年を迎え、さまざまな音楽活動とともに街の活力を生み出しています。今回は、「音楽のある街・高崎」の今とこれからについてお話しします。

最高の施設と公演で 評価が高まる高崎芸術劇場
市長 高崎は今、元気や活力のある街だと全国に知られています。これは、コロナ禍でも感染症対策を講じながらお祭りや花火などを継続し、経済活動を停滞させないよう皆で工夫してきた成果だと思います。本日は、中でも本市の音楽文化を支えてこられた皆さんにお越しいただきました。児玉さんには、館長として高崎芸術劇場の運営を担っていただいています。全国に数多くある劇場やホールの中でも高い評価を受け、高崎の音楽シーンを支える重要な施設になりましたね。



市長対談

市長 市民が立ち上げた音楽活動の象徴が、高崎第九合唱団です。赤羽さんは長く楽団を支えてこられていますが、高崎には合唱団を作りたいという人が多かったのでしょうか。

赤羽 51年前、合唱の好きな人がたくさん集まり、わくわくする感覚を皆で楽しむ、というところから始まりました。そこから高崎の音楽文化を世界に発信しようと、1989年に初めての海外公演をドイツで行いました。ドイツ語での合唱を喜んでいただき、音楽には国境がない、第九は世界共通語だと実感しました。

市長 コロナ禍で公演の開催や活動を続けるのは大変だったのではないですか。
赤羽 コロナ禍では、感染症対策を行いながら、芸術劇場の大劇場で合唱しました。その年に第九を歌ったのは私たちだけだったので、高崎は音楽に理解がある素晴らしい街だと評判になりました。群響があり、芸術劇場があり、支えてくれる方のおかげで活動が続けられるんだと思います。



高崎第九合唱団団長。本市の台湾フェアでも公演を行うなど、広く音楽振興に尽力する

市長 映画「ここに泉あり」で描かれたような、戦後の荒廃期に市民の手で群馬交響楽団が生まれた熱意が、DNAとして受け継がれていますね。昨年は、市が台湾で開催した農産物の商品などをPRするイベントにも協力を

児玉 舞台裏もとても充実していて、宝塚歌劇団は、公演が終わって緞帳（とんぐら）が下りた後、トップスターがカーテンコールに出て劇場の素晴らしいさを語ってくれました。先日は、公演を行ったバレエ団の方が、本拠地を高崎芸術劇場

きましたが、終息後、素晴らしい公演が次々に行われた結果、劇場の格が全国的に認められてきました。高崎芸術劇場は高崎の音楽の中心であると同時に、高崎の宝物だと思っています。
市長 大都市圏のホールと同等に評価され、海外の大手アーティストの公演が開催されるようになりました。
児玉 世界トップレベルの歌手のコンサートやブロードウェイミュージカルなど、一流の公演を開催できたことで、音楽業界にも高崎芸術劇場の良さを知ってもらえたことが大きいですね。
市長 三大テノールの一人、ホセ・カレーラスは、6度もアンコールに呼ばれてくれましたが、ツアーの中で一番多かったそうですね。音響効果が良く舞台も広くて、良いものを作った効果が出ています。



高崎を音楽があふれ、人のにぎわう街にしようとさまざまな取り組みを行う

に移したいとまで言ってくれましたよ。
市長 最高の評価ですね。今や、大きな公演がある日の高崎駅周辺のにぎわいも街の大きな変化の一つです。まさに、高崎の音楽を支える核になる施設です。

ストリートの音楽が 街の活力に

市長 平井さんをはじめ、地元の商店経営者の方には「高崎おとまちプロジェクト」という活動で、ストリートミュージシャンの演奏を支援していただいています。市外県外からも大勢集まるようになりましたね。

平井 紅白を目指しているオペラ歌手の方も出演するようになりました。最近、プロを目指す実力のあるミュージシャンの参加が増えています。

市長 力を付けたミュージシャンには、ライブハウスでの演奏や、タゴスタジオのプロ仕様の環境での収録を経て、メジャーデビューというチャンスをつかんでほしいです。やがては、高崎がメンフィスやリパブルのように、ミュージシャ



高崎芸術劇場館長。同劇場が国内外に誇る劇場となるよう、一流の演奏家などの招へいに努める

ただき、台湾の人たちに、高崎はビジネスだけでなく、文化も充実している街だと感じてもらうことができました。第九合唱団の皆さんには大変感謝しています。

音楽のある街は 新たなステージへ

市長 これまで行われてきた高崎の音楽活動は、昨年6月の「高崎シティロックフェスティバル」というプロミュージシャンのロックフェスティバルの開催につながりました。高崎芸術劇場、高崎アリーナ、Gメッセ群馬といった3つの大きな施設の立地を活かして開催されましたが、3万人のお客さんが集まり、まさに街全体がロックに染まりました。高崎は「音楽のある街」というコンセプトに加えて「ロックの街」としても広がってきていますよ。

平井 高崎はアマチュアからプロまで活躍の場があって、音楽のジャンルも幅広く演奏されていますね。

児玉 ずっと続けていたら、日本のメソッドになるかもしれませんね。

市長 そうですね。皆さんの活動がより盛り上がり、高崎全体が、さらに音楽であふれる街になってもらいたいです。今日はどうもありがとうございました。

一同 ありがとうございます。

対談の様子を動画で
ご覧いただけます

